

特集

What's new? 最新情報をお届けします!

『乳腺炎ケア ガイドライン 2020』 ダイジェスト

乳腺炎は、授乳中の母親であれば誰でも起こり得る炎症性疾患で、発生頻度は約2〜33%とされています。助産師は、母乳育児支援の一環で、乳房トラブルに関しても専門性を発揮できる職能ですので、乳腺炎に関わる機会もあると思います。

『母乳育児支援業務基準 乳腺炎 2015』が改訂され、今年4月に『乳腺炎ケアガイドライン 2020』として発表されました。今回は、日本助産師会と日本助産学会2団体の共同編集による改訂です。本特集では、どこが変わったのか、何を新しく追加したかなど、改訂のポイントを解説しました。また、診療報酬として収載・点数化された「乳腺炎重症化予防ケア・指導料」を助産師がより活用しやすくなるよう、「記録用紙」の普及とケアの標準化を目指すための情報もまとめました。母親が、日本のどこにいても統一したケアが受けられることを願っています。